

週報

三島南ロータリークラブ



三島南ロータリークラブ

会長 田中四史生

クラブ会長基本テーマ

「みじかな奉仕を
たいせつに」

夏の花“しまわり” 撮影伊豆市



RI会長テーマ:「率先しよう」

2006~2007年度
国際RI会長 ウィリアムB.ボイド
会長 田中四史生
副会長 古屋憲男
幹事 矢岸貞夫

事務所 三島市大社町17-4
TEL 055-976-6351 FAX 055-976-6352
URL: http://www.mishima-south-ro.gr.jp/

例会場 三島グランドホテル TEL 055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

Rotary Club of Mishima-South Weekly Report

●第829回 例会 2006. 9.29 晴れ●

RI2620地区ガバナー公式訪問

三島南RC・三島西RC合同例会

会場: みしまプラザホテル2F

司会 望月 保延君 指揮 西山 雅子さん

ロータリーソング 「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 田中四史生君

こんにちは。井上ガバナーを公式訪問としてお迎えしての合同例会です。10時から三島南クラブ、11時から三島西クラブの順番でガバナーに勉強の時間を頂きました。後ほどお話をさせていただきます。



さて、広辞苑にライオンズクラブは記載されていませんが、RCは載っていることをご存知でしょうか。「社会奉仕を目的とした社交団体である・・・云々」と説明しています。社交団体、つまりサークル団体です。ほんの少しですがこの表現に違和感を感じます。

しかし世の大部分の人はRCを、年寄りが時々集まって飯を食っているぐらいの認識度です。御自分の従業員に聞いてみると納得していただけると思います。そろそろ活動の実態を真剣に外部に広報する必要があります。その一番目にメディアは「ただ」で使うものだという固定観念を壊す必要があります。奉仕活動をするときに、新聞、ラジオ、テレビ等のメディア関係者に連絡し取り上げて頂くことも大切ですが、それだけでは、「ひま人のお茶のみ会」的認識も変わらないと言う事です。活動の広報を考え、RCを正しく理解して頂き、素晴らしい仲間が増える環境をつくる。

財団が健全な運営ができることに、年度を通して努力している井上ガバナーの方針に適うことにはなっていないでしょうか。

これからも体の休まる日はないでしょうが、ガバナーには健康に留意されて、ご自愛されることを祈念して挨拶を終わります。

ゲスト・スピーカー

●井上 雅雄君 (地区ガバナー 甲府南)

●岸本 勝一君 (第2分区ガバナー補佐 長泉)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前回	37/40	92.5%	40/40	100%
今回	33/39	84.62%	会員総数	39名

【欠席者】(※あなたが見えなくて残念でした。)

石井(印)君 内田君 金沢さん 松下君
山上君 米山君

委員会報告

前回の続き

●健康を考える会だより

保坂 国夫 君

健康を考える会の9月例会は富士山富士宮登山口周辺の西白塚散策と富士山5合目で富士登山の味をチョッピリを担当の宇都宮さんが企画してくれました。

心配した天気にも恵まれ山田さん石井さんの車に分乗して午前9時ミロクを出発、西白塚公園を1時間程散策後、渋滞でノロノロ運転でしたが5合目に到着、あいにくの濃霧で視界が悪く又半袖では寒くて震えましたが

空気も綺麗なせいにおにぎりの味も又格別でした。その後登山の味をチョッピリと5合目で体験し帰りに裾野で一風呂浴びて無事帰宅しました。

健康を考える会は毎月第一日曜日です。皆さんも一度参加して見ませんか、お待ちしております。



●ガバナー挨拶

RI2620地区ガバナー 井上 雅雄 君

本日で訪問クラブは60番目です。第2分区には話しの「種」がたくさんありますので早めの訪問の方が良かったと思います。伊豆中央RCの例会ではガバナーエレクトはじめ渡辺パストガバナーとそうそうたるメンバーでの例会では緊張いたしました。



田中会長の挨拶にもありました「広報」ははじめのほかの委員会と同じところに上げました。いままで黙っていても相手を書いてくれましたが、これからは積極的に言おうということになりました。

ポールハリスRCを始めたときは、会員の「事業の増大に貢献する」と「親睦」の2つ綱領でしたが現在は奉仕の理想が前面に出てきました。職業分類がひとりということも同じロータリアンの仲で仕事のやり取りをおこない企業が隆盛になることに努力しようと、各家庭にロータリアンをお招きしパーティーを開催し奥様がたも一緒になってロータリーを語ろうというのが親睦の一步でした。これを続けていきますのが甲府RCです。会員が110人いますが一年に一度会員を分け家庭集会を開催しロータリーの活動を語りながらまたそれが外に出たとき広報となるよう考えてください。

三島西RCが20年間、台湾の中学生交換を実施している、三島南がタイに放置自転車を送っている、このような事業は若い人たち、青少年を対象としています。つい最近、新富士RCがカンボジアに放置自転車贈呈を行いました。

三島RCは2つのインターアクトを行っています。2620地区には20のインターアクトがあり年に一度、年次大会を開催しますが、今回は山梨の日本航空高校で開催され、ポリオを知っていますかと質問しても手が挙がりません。小児マヒはと聞くと何人が手を挙げました。それほど日本ではポリオが絶滅したわけですが、RCが何をしているのか「ロータリーの友」をインターアクトの学校に配布していただきたい。

三島南RCがタイに自転車を持って行って、子供たちに自転車を渡して子供たちがそれに乗って帰る時の子供たちの表情、笑顔、目の色というのはおそらく日本にはないものがあると思います。私も過去1995、96年に甲府南RCの会長時にオイスカの植林フォーラムの団長としてフィリピンのパラワン島に行きそれ以来、昨年まで5回参加し現地の子供たちと共にマングローブを植林してきました。若い人たちに事業を展開する中でロータリアンが一緒となり事業を続けてほしい、また増やしていただ

きたい。

四つのテストはロバート・J・テイラーが1954・55年のRI会長時に作られました。9月号の「ロータリーの友」縦書きに中西さんという会員が書かれています。「四つのテスト」をテイラーが作るきっかけは倒産寸前の企業を立て直すのにどうしたらいいのだろうと「四つのテスト」を役員に示し、みごとその企業は立ち直ることが出来、テイラーはRI会長になった時、「四つのテスト」の版權をロータリーに寄付をしました。それ以来、世界で皆さんが唱和をし、また歌として歌い、企業の中に掲げられている、これをインターアクトの子供たちに話しました。これからの生活の中で実行してほしいとお願いしました。

ロータリー財団は毎年100ドルの寄付をしてください、これはロータリーが株式会社国際ロータリーと考えた時の営業部門、いちばんの営業はポリオ絶滅になりますがこの営業部門に使用するのが100ドルです。人頭分担金の47ドルは総務であり会議費であり旅費であります。

クラブリーダーシッププランは10月号の「ロータリーの友」横書きの20ページに書いてあります。2620地区は出来るクラブからはじめていただきたい、クラブにはぜひ必要なプランであります。

11月18・19日は地区大会となります。一方通行ではなく参画していただく地区大会としたいと思いますのでよろしくお願いたします。

